名古屋徳洲会総合病院　広報誌

かすたねっと

2023年
10月

編集発行
（毎月１日発行）
名古屋徳洲会総合病院　住　所：愛知県春日井市高蔵寺町北2-52
電話番号：0568-51-8711（代）　FAX番号：0568-51-7115

目　次

診療科報告（心臓血管外科）　２頁
看護部便り（４階西病棟）　３頁
コメディカル便り（健診センター）　４頁
事務部便り（介護センター）　５頁
TOPICS　６頁
医師紹介　７頁
外来予定表　８頁

おかげさまで創立50周年
未来を見つめて
徳洲会グループ 50th Anniversary

Japan Council for Quality Health Care
日本医療機能評価機構
認定第JC1021号

TOP NEWS

小児科
入院治療が可能になりました

2023年５月から小児科の外来診療を再開、９月中旬からは、入院診療も５階東病棟にて再開しました。

年齢１歳以上から中学校卒業までの小児期における内科的疾患、呼吸器疾患（気管支炎・肺炎）、消化器疾患（胃腸炎）、熱性けいれんなどの急性期疾患を中心に、入院治療が必要な際はいつでもご相談ください（※病床数に限りがあるため、入院の受入れに際しては、緊急時等対応できない場合もございます）。

地域の住民の皆様の安心のため、全力で開業医の先生方及び患者さん、そのご家族様のニーズにお応えさせていただく所存ですので、何卒、宜しくお願い申し上げます。

小児科　医長　髙橋　雅也

病棟スタッフより メッセージ

入院されるお子さまや、ご家族様が安心できる環境を提供できるよう、スタッフ一同頑張ってまいります。

患者さんの権利

1．平等で最善の医療を受けることができます。
2．病気の治療計画の内容などの情報が得られます。
3．説明を受けたのち診療計画について自分で選ぶことができます。
4．プライバシーが守られます。
5．病気や療養方法及び保健、予防について健康教育を受けることができます。

理　念

『生命を安心して預けられる病院』
『健康と生活を守る病院』

心臓血管外科

心臓血管外科
山内 博貴

― 当院でのロボット心臓手術 ―

はじめに

当院心臓血管外科は、2017年に東海地区で最初にロボット心臓手術を導入しました。

主に僧帽弁形成術（2018年から保険適応）でダヴィンチ手術支援ロボットを使用しています。

ロボットの操作

執刀医は直接患者さんに触ることなく、同じ手術室ですが少し離れたコクピットのようなところ（コンソール）でロボットアームを操作します。

また患者さん側には別の外科医がアームの取り替えなど含めてサポートを行います。

◂ロボットアームの操作を行う（コンソール）

▲アームの取り換えやサポート

緻密な手技

内視鏡による３D画面と拡大視効果、ロボットアームによる手ブレ補正、ならびに７関節動作によって、従来法よりも緻密な動きが可能となっています。写真は、当院で実際に使っているダヴィンチロボットのアームです。人差し指の爪と比べてもこんなに小さいことがわかります。

▲様々なタイプのアーム

低侵襲手術

傷口も胸部正中胸骨切開ではなく、肋間開胸アプローチとなっています。これは傷の大きさだけでなく、骨を切らないことで感染や出血リスクなどの点においても優れています。

さいごに

現在、日本では弁形成のみが保険適応となっておりますが、今後、海外のように更なる適応拡大が期待されています。また、数年前まではロボット心臓手術施設は全国で10箇所程度だったのですが、現在その数は倍程度となっており、当院でも手術件数が増加傾向にあります。それでも他の診療科と比較すると、ロボット心臓手術は、世に一般的ではありませんが、今後の期待値は高いと予想しています。

当院では冠動脈バイパス術、その他一部の複合心臓手術でもロボット手術を採用しています。また、カテーテル治療含めて様々な治療法、最適な治療法がご提案できると思います。

心疾患を指摘された方は、お気軽に心臓血管外科までご相談ください。

看護部便り
4階西病棟
2023.10

鼠径（そけい）ヘルニアについて

看護師長
栗濱　繁子

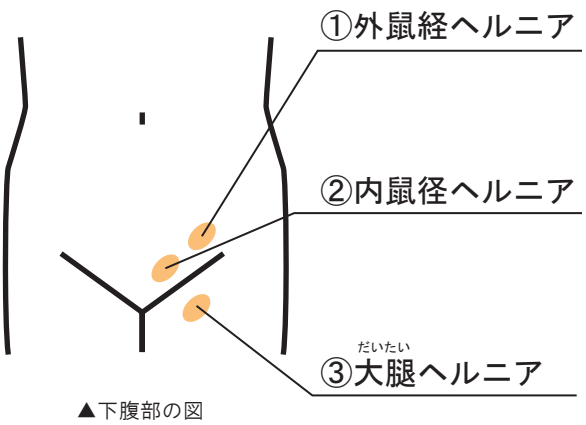
はじめに

４階西病棟は、外科（消化器・呼吸器・乳腺）・歯科口腔外科の患者さんが入院されています。今回は、消化器外科でよく入院される鼠径（そけい）ヘルニアについてお話します。

鼠径ヘルニアは、脱腸とも呼ばれる病気で、大人や子供に関係なく発症する恐れがあります。腸が飛び出す、といった症状はあまり想像がしにくいですが、多くの場合は腹圧がかかったときに飛び出し、仰向けになると引っ込みます。特に、子どもと高齢者によくみられ、男性に多く発生します。

鼠径ヘルニアの３つのタイプ

鼠径ヘルニアはお腹の中の組織が出てくる場所（穴）の違いで、３つのタイプに分かれます。



▲下腹部の図

①外鼠経ヘルニア

鼠経管というトンネルの隙間から出てくるタイプで、発症率が一番高く、男性に多いです。

②内鼠径ヘルニア

鼠径管を通らず筋肉層の切れ目から出てくるタイプで、高齢者に多く見られます。

③大腿（だいたい）ヘルニア

鼠径管より少し足の方にある、大腿管と呼ばれるトンネルから出てくるタイプで、中年以降の女性に多くみられます。発生率は少ないですが、嵌頓（かんとん）（※鼠径部で脱出した腸がもとに戻らなくなる状態）する可能性が高いといわれています。

病状を悪化させないために

①太らないこと

内臓脂肪がつくと、その重みが鼠径ヘルニアの負担になってしまいます。

②腹圧がかかる動作を控えること

腹筋やダンベル使用のトレーニングなど、お腹に強い力がかる運動は避けましょう。

③一日に一回以上必ず中に押し戻すこと

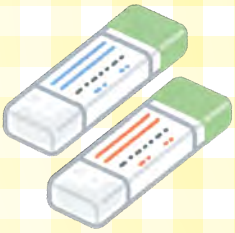
鼠径ヘルニアが、嵌頓しないように、ヘルニア部分が出っぱなしにならないように意識しましょう。

さいごに

鼠径部に膨らみが出来たり、違和感や不快感、痛みなどがあるときは、一度外科外来を受診して下さい。当院の医師、看護師がサポートさせて頂きます。

大腸がん検診
～便潜血検査について～

健診センター
主任
平野　有味子



コメディカル便り
健診センター
2023.10

はじめに

がん検診は、対策型検診と任意型検診に分けられていますが、対策型（自治体が行う住民検診や健康保険組合が行う職域検診）の大腸がん検診においては、1992年から国の指針として便潜血検査（免疫法）が推奨されています。対象者は40歳以上で年１回の実施となっています。

1990年代に欧米で便潜血検査を行ったグループと行っていないグループでどのくらい死亡率に差があったかを比較した試験がありました。その結果は、２年に１回便潜血検査を実施すると13～21％の死亡率減少となり、毎年行うと、33％減少することが分かりました。

そこで、日本でも便潜血検査が導入されるようになりました。

新しくなった便潜血検査機器

当院では、便潜血検査機器が８月から新しくなり、それに伴い検査容器も一新されました。

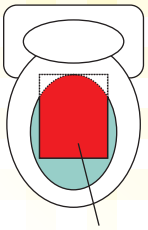
検査キットの中には、検体容器以外に採便用シートが入っています。水洗用便器内にシートを敷いて排便していただき、採便後はそのまま流すことが出来ます（※自動水洗が設定されている場合は一旦解除していただく必要があります）。

便潜血検査で非常に大事なことは、便の取り方です。２日法なので、２日間に分けて採便していただくことと、採便法として、まんべんなく便の表面をなぞることが大切です。検査結果について、従来は（+）か（-）の結果でしたが、新しくなってからは0～100ng/mlが正常値で、定量値によって（+）か（-）の判定がされるようになりました。

▲検査キット

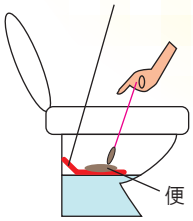
便検査のやり方

①



便器に採便シートをセットし、排便します。

②



採便シートの上の便を採便容器の棒でこすりとり、便を採取します。

便潜血検査の感度

便潜血検査の感度は、200ℓの風呂桶の水の中に、血液を１滴たらしてかき混ぜて検査に出すと『陽性』になります。それほど感度のよいすばらしい検査です。進行がんにおいては、80～90％が陽性になります。早期がんでも30～50％が陽性となります。

さいごに

便潜血陽性になった方の中には、硬便による切れ痔や大きな大腸ポリープ（良性）の存在も否定はできません。精密検査で大腸内視鏡検査を行い、がんが発見されるのは、100人中５人くらいの割合と言われています。

便潜血検査の大事な点は一発勝負ではないという点です。そして毎年受けていくことが重要であり、陽性となれば大腸内視鏡検査で、がんを早期に発見し、適切な治療を行えば、がんによる死亡を減らしていけると考えます。

介護保険の利用方法について
～介護保険は“高齢者”だけが利用できる制度ではないことをご存知ですか～

事務部便り
名古屋徳洲会
介護センター
2023.10

名古屋徳洲会介護センター
主任介護支援専門員
北口　一代

■ 介護保険の加入者（被保険者）

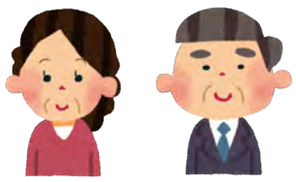
介護保険の被保険者は、65歳以上の方（第１号被保険者）と、40歳以上65歳未満の医療保険加入者（第２号被保険者）に分けられます。

■ 介護保険が利用できる方

①第１号被保険者

『65歳以上』で要介護認定を受け、要介護・要支援となった方

★ ②第２号被保険者

★	40歳以上65歳未満の方 （第２号被保険者）
対象者	『40歳以上65歳未満』で医療保険に加入しており、右記の特定疾病（加齢によるもの）が原因で日常生活の自立が困難となり、要介護・要支援状態が6ヶ月以上続くことが予想される方 （40歳になれば自動的に資格を取得し、65歳になるときに自動的に第1号被保険者に切り替わります。） 
受給要件	・要介護（要支援）状態が、老化に起因する疾病（特定疾病）による場合に限定。 ⇒右に記載

特定疾病とは・・・

1. がんの末期（医師が医学的見地に基づき回復が望めないと判断したもの）
2. 関節リウマチ
3. 筋萎縮性側索硬化症
4. 後縦靭帯骨化症
5. 骨折を伴う骨粗鬆症
6. 初老期における認知症（アルツハイマー型・脳血管性等）
7. 進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病
8. 脊髄小脳変性症
9. 脊柱管狭窄症
10. 早老症
11. 多系統萎縮症
12. 糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症および糖尿病性網膜症
13. 脳血管疾患
14. 閉塞性動脈硬化症
15. 慢性閉塞性肺疾患（肺気腫・慢性気管支炎・気管支喘息・びまん性汎細気管支炎）
16. 両側の膝関節又は股関節に著しい変形を伴う変形性関節症

■ 申請方法

40歳以上65歳未満の方は、『医療保険の被保険者証』を持ってお住まいの市・区役所の介護保険担当係まで申請してください。

■ さいごに

40歳以上65歳未満の方で介護保険を申請しようとお考えの方は、事前に主治医の先生に相談することをお勧めします。

入院中の場合は、主治医の先生だけでなく、院内の医療ソーシャルワーカーの方にも相談すると手続きの際のアドバイスなどが受けられます。

厚生労働省　第２号被保険者向け　リーフレット　参照
https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000362938.pdf

TOPICS

最新の血管撮影装置何ができるの？

○最新の血管撮影装置を導入

かすたねっと９月号でご紹介した最新の血管造影装置『ARTIS icono D-Spin（アーティス アイコノ ディースピン）』、今月号では具体的にどんなことが出来るようになったかをご紹介します。

現代社会において驚異である心房細動、脳卒中の治療に迅速に対応するため、高度なアブレーション治療、脳血管内治療の必要性が増しています。

そこで当院では、カテーテル治療の診断能を高める新機能を備えた最新の血管撮影装置ARTIS icono D-Spinを導入し、2023年８月１日より稼働しています。従来の装置より低被ばく、短時間の治療が可能で、患者様の負担も軽減でき、不整脈治療、脳血管内治療を中心に稼働中です。

▲当院の ARTIS icono D-Spin
（シーメンスヘルスケア社製）

ポイント①高画質な画像により高度な治療が出来るように

○syngo DynaCT Sine Spin

iconoは回転撮影中に頭尾方向の傾斜を加えた独自の二重軌道回転機構を有します。多方向のスキャンデータを取得することで、骨構造近くの組織が見やすくなりました。

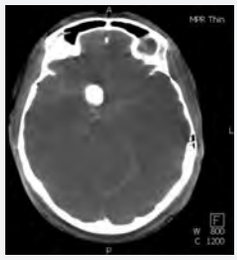
２本のアームが連動し最短４秒で３D撮影ができ、高画質な画像により高度な治療に役立ちます。

ポイント②再構成機能向上により金属アーチファクトを抑制

○syngo DynaCT SMART

金属などX線を透過しにくい物質を撮影したときに発生するノイズ（金属アーチファクト）を効果的に除去抑制します。

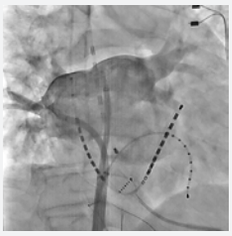
▲ノイズ除去前



▲ノイズ除去後

ポイント③アブレーション治療でも活用

事前に撮影したCT画像と重ね合わせて、より正確な治療を行っています。



▲検査中の画像

▲事前CTを
重ね合わせた画像

ポイント④新機能「OPTIQ」

OPTIQとは、求める画質を設定するだけで各設定パラメータを自動的にコントロールする機能です。これにより、患者さんの体格に合わせてX線量を制御しながら、高画質な画像を維持します。治療に求められる安定した高画質を常に適正線量で提供できることで、被ばく低減と治療時間短縮に貢献します。

▲高画質３D画像

放射線科　木村 広大

医師紹介

内科

宋 潤錫
日本内科学会認定医

吉田 香果
非常勤医師
日本内科学会認定医
日本消化器病学会専門医
日本医師会認定産業医

伊藤 竜男
非常勤医師
日本内科学会総合内科専門医
日本糖尿病学会専門医
日本内分泌学会専門医

稲垣 智里
非常勤医師
日本内科学会認定医
日本糖尿病学会専門医
日本内分泌学会専門医

糖尿病内科

猪谷 淳夫
非常勤医師

脳神経内科

小林 智則 副院長
博士（医学）
日本内科学会総合内科専門医
日本神経学会神経内科専門医・指導医
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医

総合内科

矢野間 紗稀

青山 栞奈

金城 真喜人

藪田 泰輝

総合内科

坂本 暉

山田 喬之

呼吸器内科

宇賀神 基 部長
日本内科学会総合内科専門医
日本呼吸器学会専門医・指導医
日本感染症学会専門医・指導医
肺がんＣＴ検診認定医

山下 有己
日本呼吸器学会専門医
日本内科学会認定医
結核抗酸菌症認定医
がん治療認定医

久保 昭仁
非常勤医師
日本内科学会総合内科専門医
日本臨床腫瘍学会専門医・指導医
日本呼吸器学会専門医

循環器内科

加藤 千雄 院長
博士（医学）
日本内科学会総合内科専門医
日本循環器学会専門医
日本不整脈学会不整脈専門医

青山 英和 副院長
博士（医学）
日本内科学会総合内科専門医
日本循環器学会専門医
日本心血管治療インターベンション学会専門医

安藤 みゆき 部長
博士（医学）
日本内科学会総合内科専門医
日本循環器学会専門医
日本心血管治療インターベンション学会認定医

田中 昭光 部長
日本心血管治療インターベンション学会専門医
日本循環器学会専門医
胸部・腹部ステントグラフト指導医
TAVR実施医・指導医

石黒 宣夫 医長
日本内科学会認定医
日本循環器学会専門医
日本心血管インターベンション学会認定医

循環器内科

長谷川 新 医長
日本循環器学会専門医
腹部ステントグラフト・胸部ステントグラフト専門医
TAVR 専門医
日本心血管インターベンション学会認定医

上原 千弘

亀谷 良介
非常勤医師
博士（医学）
日本内科学会認定医・指導医
日本循環器学会専門医

富永 新平
非常勤医師
日本内科学会認定医
日本心血管インターベンション学会認定医

菊池 駿
非常勤医師

小児循環器内科

後藤 浩子（兼務）

消化器内科

前田 洋平 医長
内科専門医
消化器内視鏡専門医

外科・消化器外科

高山 悟 副院長
博士（医学）
日本消化器外科学専門医・指導医
日本外科学会認定医・専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・評議員

坂本 雅樹 緩和ケア外科部長
博士（医学）
日本緩和医療学会専門医
日本外科学会専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会専門医

友田 佳介 消化管部長
博士（医学）
日本外科学会専門医
日本内視鏡外科学会技術認定医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医

外科・消化器外科

石川 健 肝・胆・膵部長
博士（医学）
日本外科学会専門医
日本消化器外科学会専門医・指導医
日本内視鏡外科学会技術認定医

髙山 昇龍

横山 希生人

鈴木 大翔

髙橋 正寛

福田 真里

細木 良祐

馬場 卓也
非常勤医師

呼吸器外科

可児 久典 副院長
博士（医学）
日本外科学会認定医・専門医・指導医
呼吸器外科専門医
日本呼吸器内視鏡学会専門医・指導医

山下 正勝

乳腺外科

吉本 信保 部長
博士（医学）
日本外科学会専門医
日本乳癌学会専門医・指導医
精中委マンモグラフィ読影医師

整形外科

植田 晋太郎 医長
日本整形外科学会
日本脚医師・骨・スポーツ整形外科学会
日本肩関節学会
日本人工関節学会

前田 徹
非常勤医師
日本整形外科学会専門医
日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医
日本整形外科学会スポーツ医

服部 敏
非常勤医師
日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医

仁丹 克則
非常勤医師
日本整形外科学会専門医
日本リハビリテーション医学会認定臨床医
日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医

手の外科

水島 秀幸 部長
（手の外科、マイクロサージャリーセンター長）
日本整形外科学会専門医
日本手外科学会手外科専門医・指導医
日本整形外科学会認定脊椎脊髄医

皮膚科

三尾 清春 部長

婦人科

川出 芳彦
非常勤医師
日本産婦人学会専門医
母体保護法指定医

荒井 麻実（非常勤）

救急集中治療部

青山 英和（兼務）

立野 里織
日本麻酔学会専門医
日本救急医学会救急科専門医

心臓血管外科

大橋 壯樹 総長
大阪大学医学部臨床教授
日本外科学会指導医
日本胸部外科学会指導医
心臓血管外科指導医

景山 聡一郎 医長
日本外科学会専門医
心臓血管外科指導医

児島 昭徳 部長
日本外科学会専門医
日本心臓血管外科学会専門医
腹部ステントグラフト実施医

山内 博貴
日本外科学会専門医
下肢静脈瘤血管内治療実施医
胸部・腹部ステントグラフト実施医

森田 英男
日本外科学会専門医

菱川 敬規
下肢静脈瘤血管内治療実施医

曽我部 博文

飯田 浩司
非常勤医師
日本外科学会専門医・指導医
日本胸部外科学会指導医

日置 薫
非常勤医師

形成外科

藤井 勝善
非常勤医師
日本形成外科学会専門医
日本熱傷学会専門医

脳神経外科

天野 貴之 副院長
日本脳神経外科学会専門医
日本脳神経血管内治療学会専門医

雪上 直人 部長
日本脳神経外科学会専門医
日本脳神経血管内治療学会専門医
日本脳卒中学会専門医

伊佐治 泰己
博士（医学）
日本脳神経外科学会専門医
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医

井面 利昂
非常勤医師

間瀬 光人
非常勤医師
日本脳神経外科学会専門医・評議員
日本脳卒中学会専門医・評議員
日本神経内視鏡技術認定医

松尾 直樹（非常勤）

青山 正寛（非常勤）

眼科

石田 琴弓
日本眼科学会専門医

石黒 聖奈

森田 裕（非常勤）

小児科

髙橋 雅也 医長
日本小児科学会小児科専門医

麻酔科

赤堀 貴彦 部長
麻酔科標榜医
日本麻酔科学会指導医
日本周術期経食道心エコー(JR-POT)認定医
心臓血管麻酔専門医

山田 佳奈 医長
麻酔科標榜医
日本麻酔科学会指導医

畑平 安香
麻酔科標榜医
日本麻酔科学会専門医

髙柳 博子
麻酔科標榜医
日本麻酔科学会専門医

田中 久美子
麻酔科標榜医
日本麻酔科学会専門医

加藤 ゆか里
麻酔科標榜医
日本麻酔科学会専門医

兒玉 絵里
麻酔科標榜医
日本麻酔科学会専門医

田中 美緒
麻酔科標榜医
日本麻酔科学会専門医
日本周術期経食道心エコー(JR-POT)認定医
日本区域麻酔検定試験（J-RACE）合格

小林 加奈
麻酔科標榜医
日本麻酔科学会専門医

恒川 亜里紗
麻酔科標榜医

泌尿器科

秋田 英俊 部長
博士（医学）
日本泌尿器科学会専門医・指導医
日本内視鏡外科学会技術認定医
泌尿器科腹腔鏡手術認定医

森久 医長
博士（医学）
日本医師会認定産業医

須江 保仁

歯科口腔外科

足立 誠 部長
博士（歯学）
日本口腔外科学会専門医・指導医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
インフェクションコントロールドクター

加藤 大貴 医長
日本口腔外科学会認定医・専門医
インフェクションコントロールドクター
臨床研修指導歯科医師

中村 健人
日本口腔外科学会認定医

堀田 侑花

森下 雄斗（非常勤）

内田 晃平（非常勤）

耳鼻咽喉科

竹本 直樹（非常勤）

讃岐 徹治（非常勤）

村嶋 明大（非常勤）

玉井 ひとみ（非常勤）

健診センター

後藤 浩子 医長
日本小児科学会小児科専門医・指導医
日本小児循環器学会小児循環器専門医
日本人間ドック学会認定医
人間ドック情報管理指導士

深田 裕美子
非常勤医師
日本内科学会認定医
日本人間ドック学会認定医
日本医師会認定産業医

病理診断科

西川 秋佳 部長
博士（医学）
日本病理学会認定病理専門医
日本臨床細胞学会認定細胞診指導医
日本毒性病理学会認定毒性病理学専門家

服部 日出雄 医長
日本病理学会専門医
細胞診専門医

総合診療部

三木 紹君

梅村 優宇

菅 健太

鈴木 研一朗

髙橋 優斗

仲野 将隆

中村 太亮

吉良 槙一

千手 孝太郎

千川 夏輝

西村 夏彦

福元 俊介

船坂 哲平

劉 炯毅

2023年10月 外来診療体制

【午前診】 診療時間	9:00～12:00(受付時間 8:00～11:30)
【夕 診】 診療時間	17:00～19:00(受付時間 16:30～19:00)

他院からの紹介患者さん、緊急患者さんはいつでも対応しております。
＊この診療体制は、業務上の都合で急に変更になる場合がありますのでご了承ください。
＊急患の方は、下記診療時間の限りではありません。ご質問等、お気軽にお電話ください。

○眼科・歯科口腔外科ご予約変更の方
＜代表電話＞0568-51-8711
○上記以外でご予約変更の方
＜予約直通＞0568-58-8482
平日 14：00～17：00

内科

	午前診	夕診
月	宋 ○吉田 藪田 ◇猪谷	
火	宋 金城 ☆稲垣	
水	宇賀神 宋 山田(喬)	
木	宋 青山(栞)	
金	山下(有) 矢野間	
土	担当医 ★伊藤(竜)(第1・3)	

(月～金)診療時間9:30～
○診療時間9:00～
◇糖尿病外来(診療時間9:00～)
☆予約制(診療時間9:00～)
★予約制【内分泌外来】診療時間9:00～

循環器内科・小児循環器内科

予予約新患 当当日新患

	午前診(新患)	午前診(再診)	午後診	夕診
月	予 ○田中 当 長谷川	加藤(千) 藪田	☆後藤 ★長谷川	
火	予 亀谷 当 青山(英)	金城	★上原	
水	予 安藤 当 石黒(宣)	青山(英)		
木	予 藪田 当 金城		★石黒(宣) ＊後藤	
金	予 加藤(千) 当 上原	田中	★安藤	
土	担当医 ペースメーカー外来(第2・3・4)			

(火)診療時間9:30～
○診療時間9:30～
☆予約制【小児循環器内科】13:00～15:30
★予約制(診療時間13:00～15:30)
＊予約制【小児循環器内科特殊検査のみ】13:00～14:00

外科・消化器外科・呼吸器外科

	午前診	午後診	夕診
月	可児〔呼吸器外科〕 山下(正) 福田 ☆吉本		
火	○友田 ○細木 ☆吉本		
水	★坂本(雅) 石川(第1・3) 前田 横山		
木	＊高山(悟) 友田 鈴木(大)	⁂横山	
金	可児〔呼吸器外科〕 髙橋(正) 福田		
土	交替制		

○診療時間9:30～
☆予約制【乳腺外科】診療時間9:30～
★予約制【緩和ケア外来】診療時間9:30～
＊予約制【肝臓外来】
⁂予約制 診療時間13:00～15:00

脳神経外科

	午前診	午後診	夕診
月	天野 伊佐治 担当医	○天野	
火	井面		
水	☆天野(第2・4) 雪上		
木	天野(第2・4) 雪上 伊佐治		●担当医
金	松尾		
土	交替制		

○診療時間14:00～17:00〔受付時間13:00～15:00〕
☆予約制【脳動脈瘤外来】
●診療時間17:00～19:00〔受付時間16:30～18:30〕

心臓血管外科

	午前診	夕診
月	大橋 山内 森田(英)	
火	景山 曽我部	
水	大橋 森田(英) 菱川	
木	担当医	
金	児島 山内	
土	担当医	

診療時間9:30～
※担当医師の急な変更あり

整形外科

	午前診	午後診	夕診
月	◇水島 担当医		☆水島
火	★植田 担当医		
水	◇水島 植田 担当医		
木	担当医		
金	◇水島 植田 仁丹 担当医	＊仁丹	
土	担当医		

◇手の外科外来
☆予約制【手の外科外来】診療時間17:00～18:30
★診療時間10:00～
＊予約制(診療時間13:00～16:00)

歯科口腔外科

	午前診	夕診
月		
火	足立 加藤(大) 中村	
水	足立 加藤(大) 中村	足立
木	交替制	
金	足立 加藤(大) 中村	
土	交替制	

予約制

呼吸器内科

	午前診	夕診
月	山下(有)	
火	宇賀神 矢野間	
水	久保	
木	宇賀神 山田(喬)	
金	伊藤(亮)	
土		

(月・火・木)診療時間9:30～

泌尿器科

	午前診	夕診
月	秋田	
火	森	
水	須江	
木	秋田	
金	森	
土		

皮膚科

	午前診	夕診
月	三尾	
火	三尾	三尾
水	三尾	
木	三尾	三尾
金	三尾	
土	三尾	

脳神経内科

	午前診	午後診	夕診
月	小林		
火	小林		小林
水	小林	○小林	
木	小林		小林
金			
土			

○診療時間13:30～16:30〔受付時間13:00～16:00〕

婦人科

	午前診	夕診
月		
火	川出	
水	川出	
木	荒井	
金		
土		

形成外科

	午前診	午後診	夕診
月			
火			
水		○藤井	
木			
金			
土			

○診療時間12:30～13:30
〔受付時間12:00～13:00〕

眼科

	午前診	夕診
月	石田	
火	石田 石黒(聖)	
水	石田 石黒(聖)	
木	石田	
金	石黒(聖)	
土		

耳鼻咽喉科

	午前診	夕診
月		
火	村嶋	
水		
木		
金	玉井	
土	交替制	

小児科

	午前診	夕診
月	髙橋(雅)	
火	髙橋(雅)	髙橋(雅)
水	髙橋(雅)	
木	髙橋(雅)	髙橋(雅)
金	髙橋(雅)	
土		

診療時間9:30～

＜特殊外来＞

胸壁外科外来【飯田】 30日(月)(14:00～17:00)《予約制》	背椎背髄外科外来 【伊佐治、井面、雪上】月～木(9:00～12:00) 【青山(正)】金(9:00～13:00)	緩和ケア外来【坂本(雅)】(紹介患者さんのみ) 水(9:30～12:00)《予約制》
進行癌外来【高山(悟)】 木(15:00～17:00)《予約制》	小児循環器内科【後藤】 月(13:00～15:30)《予約制》 木(特殊検査のみ)(13:00～14:00)《予約制》	脳波外来【小林】脳波検査 月～木(14:00)《予約制》
リウマチ・膠原病外来【猪飼】 火(18:00～19:30)《予約制》		